

は じ め に

社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0 時代」の到来や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等、先行き不透明で「予測困難な時代」の中で、中央教育審議会は「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」を答申しました。答申では、児童・生徒一人ひとりが自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力を育成するため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する必要があるとしています。

交野市教育センターでは、すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現のための授業改善および生徒指導上の課題解決のための組織体制の充実について支援を進めてまいります。

令和3年度において、交野市教育センターが受けた相談総件数は、1,852件で、学校やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と緊密に連携を図り、課題の解決にあたってきました。今後も引き続き、児童・生徒、保護者、教職員等からの教育に関わる様々な相談に対して、専門的な知識と経験を持って対応してまいります。とりわけ、いじめや不登校については依然として深刻な課題であり、その解決は急務です。各学校における教育相談体制の一層の拡充、関係機関との連携強化等、生徒指導体制をより充実させ、児童・生徒が必要とする支援により早くつなぎ、いじめ、不登校の未然防止、早期発見、早期対応に努めてまいります。

交野市では、小・中学校 9 年間の系統性のある小中一貫教育を進めるためにさまざまな取組みを行っています。令和2年3月に改訂した、交野市小中一貫教育指針「交野型小中一貫教育(KATANOSTYLE)」において示されている「カリキュラム 学び、交流 交わり、人 育み」を3つの柱とし、令和2年度から市内全中学校区において小中一貫教育を本格実施し、各校区の特色ある取組みを推進しています。また、交野市独自の小中一貫教育をより一層充実させるために、「4-3-2」の学年の区切りに基づくカリキュラムを編成し、実践するとともに、研究及び検証に努めているところです。

教育センターでは、教職員の専門的知識・技能と実践的指導力の向上を図るため、キャリアステージに応じた研修の実施、校内研修の活性化への支援等を行うとともに、初任者や経験の浅い教職員を対象としたフレッシューズサポート事業や主に5年めの教職員を対象とした授業充実支援事業等を通して、教職員の指導力・資質の向上をめざした取組みを行っています。

このように、教職員の指導力・資質向上や教育相談をはじめとする生徒指導体制の充実等、教育センターに求められる役割はますます大きくなっています。今後も、その責務を果たすべく、研修等の内容や相談機能をはじめとする生徒指導体制をより一層充実させ、皆様方のご協力を得ながら、より信頼される教育センターとして、交野市の教育の発展に寄与できるように努めてまいります。

令和4年4月